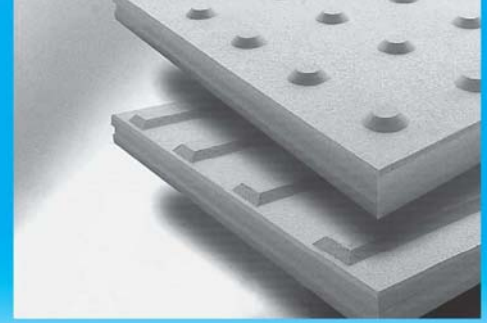


# リブロ



## 特長・ポイント

●点状突起と線状突起の面が表裏一体化されたリバーシブル構造。それぞれの面を表面として効率良く使用でき、発注・施工の作業も大幅に簡略化されます。さらに敷設時においても、裏面の突起と側面の溝が付着面積を増加させ安定した施工を実現します。

●高強度・耐久性に優れるレジンコンクリート製。従来品(セメントコンクリート製 300mm×300mm×60mm)と同等の強度を維持し、50%の薄肉化と約60%の軽量化を実現しました。

それに伴い、作業効率の向上と運搬費のコスト削減を図れます。

●凍害や塩害、また突起の欠損・摩耗に強く、品質保持に優れています。さらに、両面に雨の日でも滑りにくい独自の特殊加工を施し、安心して歩行が出来る高い安全性を確保しています。

擁壁

河川・環境

道路

噴霧

水路

防火水槽

水道用

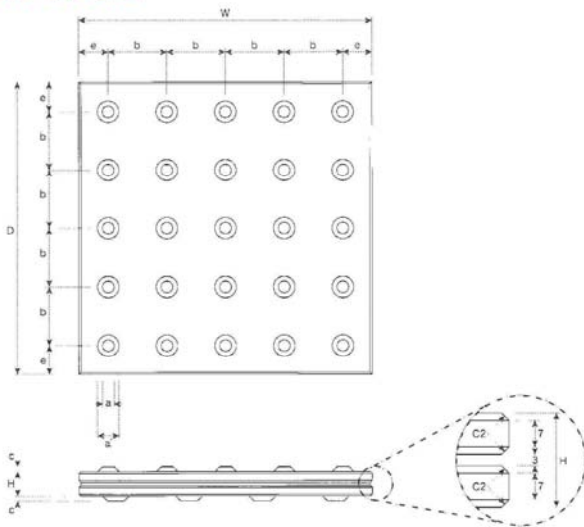
張出

地中線

景観

工法

### ●点状突起

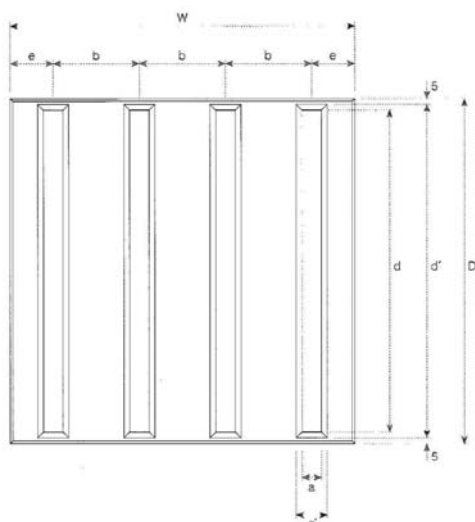


### ●製品寸法表

点状突起の形状・寸法及びその配列 (単位:mm)

| 記号   | 寸法      |         | 許容差       |
|------|---------|---------|-----------|
|      | 300用    | 400用    |           |
| W    | 300     | 400     | ±3        |
| D    |         |         |           |
| H    | 25      |         | +2 -3     |
| a    | 12      |         | +15<br>-0 |
| a'   | 22      |         |           |
| b    | 60      | 57.1    | +1 -0     |
| c    | 5       |         |           |
| e    | 30      | 28.7    | -         |
| 点状突起 | 300用    | 400用    |           |
|      | 5×5 25点 | 7×7 49点 |           |

### ●線状突起



### ●製品寸法表

線状突起の形状・寸法及びその配列 (単位:mm)

| 記号   | 寸法   |      | 許容差       |
|------|------|------|-----------|
|      | 300用 | 400用 |           |
| W    | 300  | 400  | ±3        |
| D    |      |      |           |
| H    | 25   |      | +2 -3     |
| a    | 17   |      | +15<br>-0 |
| a'   | 27   |      |           |
| b    | 75   |      | +1 -0     |
| c    | 5    |      |           |
| d    | 280  | 380  | -         |
| d'   | 290  | 390  | -         |
| e    | 37.5 | 50   | -         |
| 線状突起 | 300用 | 400用 |           |
|      | 4本   | 5本   |           |

## ●コンクリート製誘導ブロック

### 1. JIS規格に沿った形状

右図に示すように、JIS規格に沿った形状です。

### 2. 3種類の厚みをご用意

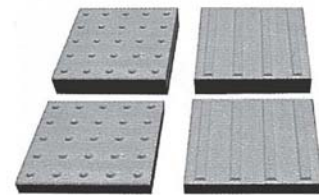
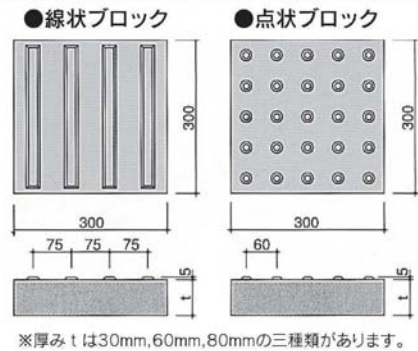
厚み30mm、60mm、80mmの3種類を取り揃えていますので、インターロッキング舗装のみならず、アスファルト舗装にもご使用いただけます。

### 3. 高い視認性(特イエロー)

従来の製品に比べて視認性を高め、輝度比確保しやすくなりました。

### 4. 保水性にも対応

保水性機能を有するクールトーンタイプの製造も可能で、保水性舗装が計画されている歩道に最適です。また、クールトーンタイプは吸水性が高いので、水が溜まりやすい線状突起間にも水が溜まりません。



写真は厚み30mmと60mm

## ●視覚障害者誘導ブロック敷設のポイント

歩道延長方向に線状ブロック(方向表示用)を敷設する場合は、民地から60cm程度離して敷設します。

横断歩道に面する部分の点状ブロックは、車道から30cm程度離し、30cm角の点状ブロックを2列、横断歩道の幅とほぼ同じ幅(横断歩道の幅を超えない)になるように敷設します。

横断歩道の方向を示す線状ブロックは、横断歩道の中心線の延長上に横断歩道の進行方向と平行になるように敷設します。

隣接する舗装材との輝度比は2.0以上が標準です。黄色系の舗装パターン等で2.0以上が確保できない場合は、誘導ブロックと隣り合うブロックをグレー系にするなどの検討が必要です。

